ドリームちゅうおう

10
DREAM CHUOH
October 2025
No.333

とっとりCHU!
JA鳥取中央

今月号のCONTENTS

02 特集「梨の出荷が始まりました!!」
04 あぐりキッズスクール
05 青壮年部の活動紹介
& いつでもそばに みんなのJA
06 女性会の活動紹介
07 発見! 地域をつなぐ畜産物語
08 営農トピックス
12 JA information
14 直売所探検隊「旬鮮プラザ 満菜館」
15 食卓を彩る 旬のレシピ
& 読者からの お願い紹介
16 まちがいさがし

ホームページ「ドリームちゅうおう」https://www.ja-tottorichuou.or.jp/

夏ノ暑サニモ少雨ニモ負ケズ 梨の出荷が始まりました!!

今年は、空梅雨傾向で梨の生育には好条件でしたが、梅雨明けからは晴天が続き降水量が少なく、生産者さんは潅水作業に苦労の年となりました。ですが、二十世紀梨の糖度は、近年まれにみる高糖度に! SNSなどでも、おいしい! という声がたくさん上がっています。

8/20~25　国内外の来場者にPR 大阪・関西万博"とっとりフェス"で梨販売

JA全農とっとりは、大阪・関西万博の関西パビリオン多目的エリアで開かれた「とっとりフェス」にて、「なつひめ」と「新甘泉」の販売を行いました。食べやすいサイズにカットした梨を１日に約500パック準備しましたがお昼過ぎには、完売。国内外の来場者に鳥取梨をPRしました。JA鳥取中央の職員も２日間販売に参加。わかとりメイツの吉川芽衣子さんも販売し「『なつひめ』を初めて食べて甘さに驚いているお客様が多かった。鳥取梨の魅力を伝えられてとてもうれしく感じた」と話しました。

露地 二十世紀梨 収穫作業に汗

JA管内では、今シーズンは98.3haで露地二十世紀梨の栽培をしており、連日生産者さんは収穫作業に汗を流しています。

琴浦梨生産部の矢吹和也さんは、14aで露地二十世紀梨を栽培。慣れた手つきで次々と収穫し、この日は400kgを収穫しました。矢吹さんは「鳥取の名産品なのでぜひ全国の人に楽しんでもらいたい」と話しました。

新甘泉 傷をつけないように丁寧に収穫

8月下旬、新甘泉の収穫が最盛期を迎え、県内各産地では生産者がみずみずしく育った梨の収穫作業に精を出していました。

倉吉梨生産部で指導部長を務める山本昭二さんは、8月20日からジョイント栽培の園地で手際よく無袋の新甘泉を収穫。多い日には900kgも収穫すると話し、「年々厳しくなる栽培環境の中、一生懸命育てた梨なのでおいしく食べてもらいたい」と次から次へと梨をもいでいました。

8/29 倉吉市長に 二十世紀梨と新甘泉を贈呈!

倉吉梨生産部の大野俊一部長と岸田佳人副部長は、倉吉市役所を訪れ広田一恭市長「二十世紀梨」と「新甘泉」を1箱ずつ贈呈しました。

さっそく試食した広田市長は、甘い仕上がりに笑顔を見せ「最高に甘い梨。生産者が苦労されて立派に育った梨を鳥取の名物として地域のみんなで応援しアピールしていきたい」と話しました。

8/1　琴浦梨生産部 ハウス二十世紀梨 初出荷出発式

琴浦梨生産部は、ハウス二十世紀梨の初出荷を祝い、選果場で初出荷出発式を行いました。

ハウス梨の県内最大産地である同町では、初日に４万4,000玉を出荷しました。

式では、「琴浦の梨」と大きくペイントされた大型トラックを拍手で見送りました。

8/27　東郷果実部 初出荷出発式 露地二十世紀梨 販売解禁

東郷果実部は、東郷二十世紀梨初出荷式を開催しました。宮脇湯梨浜町長や上本武組合長がテープカットをした後、初荷を載せたトラックが全国で待ちわびている消費者に向けて出発。9月12日まで選果を行い、約10万箱(1箱10kg)の二十世紀梨を出荷しました。

8/23　倉吉梨生産部 初出荷セレモニー 県内唯一 米国向け二十世紀梨 選果

倉吉梨生産部は、露地二十世紀梨の初出荷を祝うセレモニーを開催しました。当日は、国内向けに先立ち、アメリカ輸出用に500箱を選果。万歳三唱をした後、打吹童子太鼓の演奏に送られて初荷を載せたトラックは出発。JA全農とっとりの氷温貯蔵で保管した後、10月に現地で販売される予定です。

第5回 あぐりキッズスクール

7月26日(土) 大阪市中央卸売市場 & 大阪市立科学館 探検

夏休み特別カリキュラムとして、親子42人が、大阪市中央卸売市場と大阪市立科学館を訪れました。

市場では、実際に果物のセリ場に上がり、鳥取県産のスイカや梨もここでセリにかけられているという説明や、手振りの手の形などを聞きました。市場の中を探検すると、前回カリキュラムで選果場見学をした倉吉西瓜も並んでおり、あぐり生たちは写真を撮るなどして嬉しそうな反応を見せていました。

科学館では、宇宙や科学について、体験しながら勉強をしました。

参加した桑野七花さんは、「いろいろな所から食べ物がいっぱい来ていて、そんなにあるんだとびっくりした。科学館も楽しかった」と話しました。

大阪市中央卸売市場

セリの手振りを教わりました

セリ落としたリンゴをゲット

倉吉西瓜を発見

魚だっ

わあ、重たい！

大阪市立科学館

宇宙の秘密を勉強中

仲卸のお店で仕入れ体験も

8月1日(金)・4日(月) 夏休みの自由研究に「ちゃぐりん」活用でおにぎりづくり

倉吉市上灘コミュニティセンターにて、JAの子ども向け雑誌「ちゃぐりん」を活用した料理教室を開催しました。夏休み期間中の放課後児童クラブから小学生24名が参加し、2日間にわたりおにぎりと手作りアイスの調理体験を行いました。女性会会員が講師を務め、ツナマヨや唐揚げなど5種類の具材を用意。子どもたちは好きな具を選び、1人2個ずつおにぎりを作りました。デザートには、塩と氷で冷やしながら牛乳と練乳を振って作るアイスも楽しみました。仲村美月さんは「自分だけでおにぎりを作れたのがうれしかった。アイスは振るのが楽しくて、家で兄弟とまたやりたい」と話しました。

助けてもらいながら大きなおにぎり完成

おにぎりを握る真剣なまなざし

初めておにぎり作った！

青壮年部の活動

JA YOUTH 青壮年部のできごとをお伝えします

7/25 鳥取県代表に伊藤優生さん(湯梨浜支部)、大田忠敏さん(本部役員)が選出！

(前列左から)発表大会に出場した市川　剛さん(倉吉支部)、大田忠敏さん(本部役員)、伊藤優生さん(湯梨浜支部)、森広幸さん(北条支部)

JA鳥取県青壮年連盟夏季研修会に参加し、青年の主張に3名、組織活動発表の部に1組織が出場。日頃の成果、今後の展望について発表を行いました。

青年の主張では湯梨浜支部の伊藤優生さん、組織活動発表では本部役員の大田忠敏さんが最優秀賞に輝き、11月に米子市で開催される中国・四国地区JA青年大会に鳥取県代表として出場します。

自分自身の可能性と農業の未来を信じ、地域の仲間と共に湯梨浜町から日本の新しい農業の形を模索し、発信していきたいと主張をした伊藤さん

みんなのJA

いつでもそばに

6/18 東郷支所年金友の会総会 親睦深め楽しいひと時

東郷支所年金友の会は湯梨浜町で総会を開き、令和6年度の事業報告や令和7年度の計画について協議しました。続いて、NHK鳥取局の気象予報士・木下和花さんによる「予報士の一日」と題した講演が行われ、天気予報の仕組みや気象の知識を学びました。講演後はビンゴやカラオケで交流を深め、楽しいひとときとなりました。

6/27 第43回東郷支所年金友の会 夏季グラウンドゴルフ大会

場所:燕趙園　人数:95名

【団体の部】

優　勝	引 地 A	261打
準優勝	松 崎 A	275打
第3位	中興寺A	287打

【個人の部】

優　勝	前田静男	35打
準優勝	有澤幸子	36打
第3位	前田廣美	36打

優勝した引地A

左から有澤さん、前田静さん、前田廣さん

8/4 みつぼし踊り 一体感のある舞を披露

倉吉市で開かれた第47回倉吉打吹まつりの「倉吉みつぼし踊り大会」に参加しました。約40人の職員が練り歩きました。同JAは、前身となる倉吉市農協の頃から30年以上、地域貢献活動の一環として同祭りを盛り上げています。

同市にある県立美術館の前の芝生で「みつぼし音頭」を曲に合わせて約1時間踊りました。職員は毎年、7月下旬から練習をしていて、本番では今年入祖した職員や役員も参加し一体感のある踊りになりました。

一体感のある踊り

女性会の活動

女性会のできごとをお伝えします

7/19 女性大会・家の光大会
地域活性化へ食と農の力結集

第27回JA鳥取中央女性大会・家の光大会を三朝町で開催しました。まず、「家の光」の普及拡大に積極的に取り組んだ支部を表彰。体験発表では、同女性会三朝支部の村岡幸枝さんが「おひさま市でほっこりと」と題し、「家の光」を通じた野菜作りや地域との関わりなどを発表しました。また、アトラクションでは河北支部、倉吉支部、大鴨支部が練習してきた踊りを披露し、大いに会場を盛り上げました。最後に、活動のテキストとして「家の光」を普及することを申し合わせ閉会。磯江睦美会長は「女性の力を発揮し、私たちの優しい目線で元気な地域を作っていきましょう」と呼びかけました。

体験発表をする村岡さん

迫力満点『家の光』100ダン（河北支部）

令和の米騒動　お米に感謝！（倉吉支部）

特産品と一緒に東京ブキウギ！（大鴨支部）

8/22 大栄支部で癒やしのワークショップ
苔テラリウム作りに挑戦

大栄支部は、谷本種苗の藤田昭子さんを講師に招き、「苔テラリウム」作りに挑戦しました。

ボトルの中に石や土を敷き詰め、その上に苔をのせ、さらに装飾用の小物やカラフルな石を配置して完成！　完成品には、それぞれの個性が表れており「普段の自分が出ているみたい」と笑い合う姿も見られました。

たまに水を与えるだけでOK

真剣な表情で作業

7/5 東伯支部で防災教室
サバ缶と旬の野菜を使った防災食作り

東伯支部は、栄養士の岩山美由紀さんを講師に招き調理実習を行いました。

防災食ということで、ポリ袋を使ってお米を炊いたり、デザートのプリンを作ったりなど、普段の調理とは一味違う工夫に、「いざというときにも役立ちそう」と感心の声があがりました。

楽しい活動に、次回は牛乳を使ったメニューに挑戦しようと話が盛り上がるなど、終始和やかな雰囲気の中での実習となりました。

協力しながら和気あいあいと調理

完成したカレーやプリン

発見！地域を畜産物語をつなぐ

Vol.3

内山（うちやま）　瑞希（みずき）さん

（琴浦町）

プロフィール

就農：9年目

畜種：和牛繁殖

頭数：繁殖牛16頭

趣味：バレーボール
　　Tシャツデザイン

今回は、昨年10月に父親から経営を引き継ぎ、新たなスタートを切った内山さんのもとへ行ってきました。

畜産を仕事にすると決めた時や引き継ぐときはどんな気持ちでしたか？

父から『やらないか？』とあったのがきっかけでした。牛が触れず匂いも苦手で、抵抗がありすごく悩みましたが、父の代で終わらせたくない想いが強く決意しました。

名義を父から自分に変える時は、父を超えられる様に精進していこうと覚悟を決めた瞬間でした。

実際に経営者として、改めて感じる難しさや、やりがいはありますか？

命を相手にしているので、上手くいかなかったり報われない努力もあります。あの時あしていたらと後悔したりすることもありますが、それ以上にセリで実際に値段がついて評価されたり、「いい牛だね」とお声がけをいただけたときに頑張ってよかったなと感じます。一言もらっただけでも仕事の糧になります。また、やり始めたころは、内山さんの娘さんで認識されていましたが、少しずつ一人の牛飼いとして名前を呼んでいただけるようになったことが嬉しいです。

今年から、JA和牛生産部女性グループの代表もされているそうですね。どんな活動をされているんですか？

年に1回研修などで集まっておられましたがコロナ禍で3、4年できておらず、また、新しく始めようかと今年から再始動しています。先日は、岡山県の家畜改良事業団へ男性グループと一緒に研修に行きました。グループには自分より上の方の世代や同世代の方など10人前後おられて、集まった時は、自分も皆さんからいろいろ習いたいですし、知識を吸収しあって、お互い高めあえられる場になったらと思います！ちょっとした何気ない会話からでも、みんながんばっているから私もがんばろうと励みにもなってます。

今後の意気込みを教えてください

現在、畜産を取り巻く情勢は厳しいですが、まずその壁を乗り切りたいと思っています。大変だけど、手を掛けたら掛けただけちゃんと評価してもらえる達成感のある職業ですからね。

和牛せり情報

8月28日開催

■JA鳥取中央　　単位:円(税込)

	頭　数	最高価格	平均価格	kg 価 格
雌	63	826,100	613,817	2,075
去	93	941,600	690,031	2,151
計	156	941,600	659,252	2,122

■県全体　　単位:円(税込)

	頭　数	最高価格	平均価格	kg 価 格
雌	121	826,100	599,175	2,049
去	160	941,600	679,690	2,124
計	281	941,600	644,857	2,093

Spotlight on Agriculture

営農トピックス

県中部の農業にまつわるトピックスをまとめてご紹介します。

7月17日 県とJAが緊急協議
イネカメムシ被害から水稲を守る

平井知事にJA鳥取中央管内の状況を説明した木下農産部長（右奥）

平井伸治知事やJAは、県庁でイネカメムシ・果樹カメムシ類発生緊急対策会議を開きました。7月下旬に鳥取県病害虫防除所がすくい取り調査を行ったところ、イネカメムシの発生確認地区は前年より多く、県全体の発生量も増加していました。JAでは、生育にあわせた防除の徹底を周知するほか、資材店舗でも防除資材を切らさないようにしていると報告。平井知事は「緊張感を持って対策を講じる必要がある。見えなくてもいることを前提に、地域への呼びかけをお願いしたい。被害の状況を見ながら、臨機応変に支援措置の拡充も視野に入れて対応していく」と話しました。

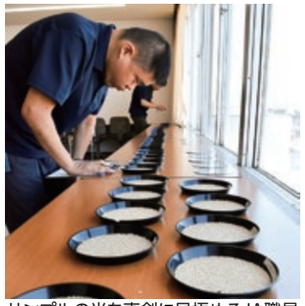
7月10日 夏場、暑い砂丘地での防除作業
ドローンで省力化 デモ飛行実演実施

自動飛行で操作不要のドローンに感心が集まった

長芋生産部は、北栄町特産「ねばりっこ」のほ場で、ドローンによる農薬・肥料散布の実演を初開催しました。生産者や関係者約30人が見学し、最新技術に注目が集まりました。

粒剤の肥料は手作業で約1時間かかるところ、ドローンでは5分で完了。薬剤の積み替えもスムーズで、農薬散布は1分半で対応できました。従来の重労働が省力化され、作業時間の大幅な短縮が期待されています。竹本健二部会長は「2日かかっていた2haの追肥作業が40分で完了できるようになる。補助事業を活用し、スマート農業を進めて若者に魅力ある職業にしたい」と話しました。

7月25日 農産物検査員が鑑定技能を磨く
米や麦などの等級判定技能訓練


サンプルの米を真剣に見極めるJA職員

米の等級判定を担う農産物検査員の資格をもつJA職員30人を対象に、農産物検査員技能訓練を実施しました。水稲うるち玄米や大豆、大麦など全50種を鑑定し、銘柄鑑定や正確な等級判定の技術を磨きました。米の買取価格を左右する重要な作業のため、毎年こうした訓練を通じて目を鍛えています。

農産部の木下拓也部長は「米の適正な価格と品質について過去にないほど注目が集まっている。公平な検査を行うためにも訓練の継続が個々の力になることを期待する」と話しました。

7月23・25日 ピオーネ査定会
今年は甘みがギュッと高糖度に

羽合ぶどう部会と北条支所ぶどう生産部は、それぞれピオーネの査定会を開きました。今年のぶどうは、平均糖度が近年で最も高く、着色や粒張り、食味も優れており、品質の高さが際立っています。

今年は梅雨入りが早かったものの、空梅雨による豊富な日照のおかげで糖度が向上しました。高温の影響で着色には時間を要しましたが、見た目・味ともに良好な仕上がりとなりました。

北条支所ぶどう生産部の石宝梅市部長は「黒色で甘いブドウに育った。今年は糖度が18と高いので、ぜひ味わってほしい」とPRしました。

北条支所ぶどう生産部

羽合ぶどう部会

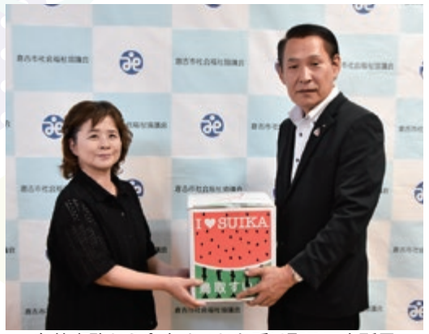
7月30日 中部畜産共進会
中本栄さん栄冠

グランドチャンピオンに選ばれた「しらほし」

琴浦町の県中央家畜市場で第131回中部畜産共進会を開きました。月齢に合わせた雌1～3区の部門に、黒毛和種の種牛16頭が出品されました。グランドチャンピオンは、1区で首席だった琴浦町の中本栄さんの「しらほし」（父「福之鶴」、母の父「平茂晴」）が輝きました。審査委員からは、発育が良く体積、均称に富み、特に体の伸び、深みがあると評価されました。

中本さんは「血統により個体差は出てくるが、体型の管理や観察をしっかりと行い、牛とお友達になれるようにをモットーに頑張った」と話しました。

7月3日 倉吉市の子ども食堂
スイカと農畜産物引換券を贈呈


向井専務から倉吉すいかを受け取る田中所長

倉吉市内にある4ヵ所の子ども食堂に、倉吉すいかと同JA直売所で使用できる農畜産物引換券を贈りました。JAの向井敏弘専務が倉吉社会福祉協議会あんしん相談支援センターの田中直美所長に手渡しました。

JAは地域貢献の一環で、子ども食堂などへ地元の農産物や農産物引換券を提供し、子どもたちの食生活を支援しています。

田中所長は「旬のスイカをいただき、子どもたちも喜ぶと思う。食を通じて笑顔で過ごせる場を作り、そこから生まれる交流や見守りの機会を大切にしたい」と話しました。

8月1日 大栄抑制メロン部会
大栄抑制メロン「プリモレッド」定植始まる

大栄抑制メロンプリモレッド」の定植が始まっています。プリモレッドは2021年に品種登録された新品種で、糖度が高く裂果しにくいのが特徴。今年で栽培歴8年目になる大栄抑制メロン部会の増本和也さんも1日、北栄町で、株間75㎝を維持しながら一株一株丁寧に植え付けていました。

増本さんはこの日、ハウス2棟分を定植し、「去年よりも良いメロンを作り1玉でも多く出荷したい」と意気込みました。定植は6日ごろまで続き、収穫は9月下旬から10月下旬までを予定します。

プリモレッドの定植をする増本さん

9/1～10/31 秋の農作業安全運動推進中

8月5日 鳥取すいか販売御礼の会
単価が過去最高に

販売金額が36億円を突破しました

R7年度「鳥取すいか」販売御礼の会を倉吉市で開きました。会では、1kg当たりの平均単価が過去最高の260円となったことを報告。出荷数量は1万4,021tと計画比3%減だが、販売金額は36億4,768万円を記録。

出荷を開始した6月上旬は、低温や曇天の影響で荷動きが鈍く、先行産地の残量もあり厳しい販売となったが、市場各社の努力で売り場を確保。

市場担当者は「3L中心の大玉で食味が良いスイカで最後まで引き合いが強かった」と話しました。同JA西瓜生産部の岸本健志会長は「来年は大型の量販店でキャンペーンや販売促進をしたい」と市場に要望しました。

8月29日 抑制極実西瓜査定会
糖度・重量ともに上々の仕上がり

1日から出荷開始

倉吉西瓜生産部会は、抑制栽培の極実西瓜の査定会を開きました。持ち寄った13玉を査定すると、平均重量は9・2kg、平均糖度は11・2と上々の仕上がり。初出荷日を1日に決めました。

高温下のハウス内での管理作業は生産者にとって厳しかったものの、日照を調整したことで猛暑による生育の影響は見られず、初出荷日も例年通りの日程と、順調なシーズンの幕開けとなりました。

3日には、出荷セレモニーや倉吉市長への贈呈を行い、今年産のPRを行いました。

8月26日 JAへの米集荷率向上を目指し意見聞き取り
稲作生産者とJA役職員が意見交換会

2時間しっかり稲作生産者さん（左側）から意見を聞きとるJA役職員（右側）

農事組合法人や営農組合の代表8人とJAの組合長など役職員8人が今年の「生産費払い」やJAへの要望について意見交換会を行いました。現在、米集荷運動を展開中ですが、集荷業者のJA生産費払いを上回る価格提示により、なかなか出荷に結びつかない状況にあります。JA集荷率目標を50%（昨年41%）に掲げ、積極的にJAに出荷している生産者と意見交換することで、今後の出荷体制強化につなげようと開催しました。

参加者からは、JA出荷だと「振込の心配がない」「クレーム対応しなくていい」という声がありました。一方で「今の価格が維持できるかどうかが大事」「野菜の生産部のように担当の指導員をつけてほしい」などの意見も出ました。農家の立場を行政へつないでほしいと強い要望もありました。

JAの上本武組合長は「JAは農家の気持ちがわかっていないのでは、という声もある。今回の意見を基に、今年やその先の米の集荷で対応していきたい」と話しました。

8月25日 面積増加で産地を活気づける
「シャインマスカット」今年も高糖度に！

羽合ぶどう部会

北条支所ぶどう生産部

人気品種のシャインマスカットの査定会を、羽合ぶどう部会と北条支部ぶどう生産部がそれぞれ開催しました。面積が増加傾向で、昨年と比べて羽合では、0.2ha増の1.4ha、北条支部でも0.14ha増の5.72haで栽培しています。

査定会では、糖度や房重量などを測定。今年は、粒ぞろいも良く甘さも昨年に引けを取らない高糖度を記録。梅雨明け以降、適度なかん水や新梢・着果管理が徹底され、粒張りは良好となりました。

羽合ぶどう部会の横川芳博部長は「高糖度で粒張りや食感も良く、爽やかなブドウに仕上がっている」と話し、北条支部ぶどう生産部の石宝梅市部長は「大変美味しいブドウに仕上がっているため、子どもからお年寄りの方まで幅広い方に食べていただきたい」と話しました。

7月31日 7月が極端な少雨に
同栄神社で雨乞い神事を実施

力強く鳴り響いた北条砂丘太鼓

祈りを捧げる藤井さん

渇水による農作物への影響が深刻化する中、JAでは倉吉市の同栄神社で、雨乞いを行いました。

特産の青梨「ハウス二十世紀」は玉太りが遅れ、大渇水が産地を襲った1994年以来の小ぶりとなっています。一部地域では、水稲も枯れ上がるなど被害は拡大。恵みの雨を求めて、雨乞いの実施に至りました。

神事では、同JAの戸田勲常務と、梨生産者の藤井憲人さんが玉串を捧げ、神事の後には、水くみにあえぐ農民が雨乞いを祈願して打ち鳴らしたと伝えられている「北条砂丘太鼓」の演奏を奉納。

祈りが天に届いたのか、8月には待望の雨が降り、生産者たちはようやく胸を撫で下ろすことができました。

農機センター 秋季 農繁期対応期間 予定表

センター名	電話番号	農繁期対応スケジュール
中央農機センター（倉吉市横田150）	28-3270	9月 6日(土)～10月19日(日)
中央東農機センター（湯梨浜町中興寺378）	32-0713	9月 6日(土)～10月13日(月)・(祝)
中央北農機センター（北栄町由良宿561）	37-3322	9月13日(土)～10月13日(月)・(祝)
中央西農機センター（琴浦町赤碕1919）	55-1411	9月 6日(土)～10月13日(月)・(祝)

営業時間（通常通り） 午前8時30分～午後5時00分

※土日・祝日は、少人数による対応となりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。
※天候によっては臨時休業する場合がありますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。
※刈取状況によっては期間を延長する場合がありますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

大瀬給油所、下北条給油所につきましては、農繁期対応期間中は水曜日も営業致します。

大瀬給油所	9月10日(水)～10月8日(水)	43-1411
下北条給油所	9月17日(水)～10月8日(水)	36-3212

期間中の水曜日の営業時間 午前8時00分～午後6時00分

鳥取県農業生産１千億円達成プラン
～仲間が増える、所得が増える、地域を育む～

鳥取県は、本県農業の活力を高めていくために、鳥取県農業生産１千億円達成プランを令和７年３月に改訂し、地域農業を応援しています！

基本目標　～本県農業の目指す姿～

仲間が増える
- 新規就農者が2,000人増
- 認定農業者等の担い手が1,800人に増
- 耕地面積の5割超が担い手に集積
- 女性、定年帰農者など多様な担い手が活躍できる環境

所得が増える
- 認定農業者の農業所得が500万円以上/年
- 10億円以上の品目が10品目に増
- 「和牛といえば鳥取」と呼ばれる産地への飛躍
- 農林水産物の輸出額が50億円に増

地域を育む
- 県内食料自給率が150%に向上
- 小さくとも生きがいをもって取り組める地域農業が実現
- 県民みんなで共に農地・農村を支え合う環境
- 安全あんしんな農畜産物による豊かな県民生活
- 再生産可能な農畜産物価格への理解醸成

改定のポイント①　食料自給率目標の設定

県民のみなさまに食料を安定供給できるよう、県内食料自給率150%を目指します
- 鳥取県の食料自給率（生産額ベース）
  令和４年度　：１２１％（現状）
  令和１６年度：１５０％（目標）

改定のポイント②　フェアプライスの展開

生産者も消費者も、みんなが納得できる適正な価格形成に向けた運動を展開します
- ＪＡグループの「国消国産」との連携
- ９月１日から11月30日を「地産地消月間」として地産地消を推進

プランに係る問合せ・ホームページ

<プランに係る問合せ>
鳥取県農林水産部農林水産政策課　☎0857-26-7256
URL：https://www.pref.tottori.lg.jp/243457.htm

法務局の自筆証書遺言書保管制度

法務局では、自筆の遺言書を保管する業務を行っています。大切な遺言書の紛失や改ざんを防止し、また、相続開始後、遺言者が指定した方に、遺言書が保管されている旨を通知することもできますので、大切な財産をご家族等に確実に託す方法の一つとして本制度を御利用ください。

なお、遺言書保管申請の方法については、法務省ホームページを御確認いただくか、鳥取地方法務局倉吉支局までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】　鳥取地方法務局倉吉支局（℡0858-22-4108）

遺言書ほかんガルー

花き生産者のみなさまへ　「花のまつり2025」第53回鳥取県花き品評会への出品を募集します！

鳥取県花き振興協議会では、県内の花が一堂に集う「花のまつり2025」を下記のとおり開催し、その中で花き生産者の技術向上を目的に「花き品評会」を行います。

出品いただいた中から、優秀作品には農林水産大臣賞等の表彰をするとともに、花のまつり会場内で展示し、市場関係者や生花店、一般の方に広く公開しますので、多くの出品をお願いします。

出品方法等については、お近くのＪＡ、農業改良普及所または鳥取県花き振興協議会事務局（電話0857-26-7282）まで、お問い合わせください。また、出品いただいた方全員に粗品を進呈します。

〈前回の農林水産大臣賞〉

〈前回開催時の様子〉

記

<花のまつり概要>
日時：令和7年10月25日（土）～26日（日）両日午前10時開場
※花き品評会は10月24日（金）に出品物受付および審査をし、出品作品の展示は、25日（土）と26日（日）に行います。
場所：エースパック未来中心 アトリウム（鳥取県倉吉市駄経寺町212-5）
内容：花き品評会出品作品等の展示、園芸教室、展示物の即売会、講演会等

世界食料デー　食品ロスについて考えよう

食品ロス問題ジャーナリスト●井出留美

10月16日は世界食料デー。1981年に国連が定めた、世界の食料問題を考えるための日です。10月の1カ月間は「世界食料デー月間」とされています。

日本で議論されてきた食料問題といえば米でしょう。故・井上ひさしさんが執筆した著書に『コメの話』（新潮社）がありま す。初版は１９９２年ですが内容は今でも古びていません。例えば「（米は）決して取れ過ぎていない」「日本の米の争奪戦が始まる」「日本のおいしい米を食べられるのは、きっとお金のある人」など、30年以上前に書かれたとは思えないほど現在の日本に当てはまります。

そんな米作りを支えてきたのは家族経営の小規模農家です。ＦＡＯ（国連食糧農業機関）によれば、世界の食料生産額の８割以上が家族農業によるものです。国連は２０１９～２０２８年の10年間を「家族農業の10年」とし、小規模農家や家族農業を守る政策を加盟国や関係機関に促しています。

ＥＵ（欧州連合）では全予算の３分の１を農業に充て、そのうちの７割を農家への直接補償、３割を農村振興に振り分けて農業を守っています。一方、日本では今後10年で農家が半減するにもかかわらず危機感が少ないといわれています。

農林水産省は２０２５年６月６日、全国スーパーマーケット協会に対し、米飯類をはじめとする食品ロス削減推進徹底の通知を出しました。６月13日には農林水産大臣が、さらに広い対象者へ同様のメッセージを発しました。今ある食料を捨てないことは、食料自給率が61％（生産額ベース・２０２３年度）を海外からの輸入に依存する日本にとって重要です。

気候変動や紛争により食料危機が叫ばれる昨今では、今ある食料や資源を無駄にしないことが大切で、持続可能な方法ではないでしょうか。

菊栽培にかける想い
～親から子へ受け継がれる技術～

この日は30束出荷しました

栽培しているのは、精ひなの、精つくばね、精こはま、精みやこ、はるなといった品種です。始めは、両親の菊栽培の手伝いをしていました。そこから、世代交代をして今年で栽培5年目くらいになります。お盆や彼岸に合わせて作っているので、店頭でお客さんが私の作った菊を買ってかごに入れているのを見ると凄く嬉しいです。今年は雨が少なくて心配したんですけど、お盆前の数日間の大雨のおかげで、綺麗な菊を出荷することができました。

面積は10ａ未満で、1日30束、盆前には150束を出荷していました。収穫は7月下旬から10月中旬までです。品種によっては香りが強いものもあります。11月から12月にハウスに株を植え替え、そこから芽を出させて、挿し芽をし、8月に花が咲くので、ほぼ1年中、菊の栽培をしています。

草刈りは本当に大変で、放っておくと菊が草に埋もれてしまうので、欠かせません。菊のほかに白ネギやフリージア、米も作っています。朝は子どもたちを見送ってから8時頃に作業を始めます。

活けた菊が長持ちする秘訣は特にないですが、よくお客さんに言われるのが「長持ちするね」と言われます。おそらく、市場に出回る菊は蕾の状態で切って、冷蔵保存で開花させているため、私の畑の菊の方が強いのかなと思っています(笑)茎の太さは品種によって違うので、それを見ながら剪定や仕立てをしてをしています。

お店に出荷した際には、Instagramで発信しています。一度買ってくれた方が「また買いたいな」と思ってくれるよう、これからも高品質な菊を育てていきたいです。

花が咲いている菊から収穫します

収穫にはハサミを使います

関金町　小谷（こだに）　陽子（ようこ）さん

9月20日(土)～28日(日)

秋の彼岸売り出し

お供えの花は直売所で。
お供えもいろいろ取り揃えています。

食卓を彩る
旬のレシピ

うま味を逃さない調理法で、秋の味覚を丸ごといただきます

塩肉じゃがのような、ほっとする味

手羽先とジャガイモのタッカンマリ風

（手羽先とジャガイモの韓国風塩煮込み）

材料(4人分)

- ジャガイモ……2個
- ネギ……1本
- エノキタケ……1パック
- ニンニク……1片
- 手羽先……8本
- ショウガ(スライス)‥2枚
- 酒……100ml
- 水……600ml
- 塩……小さじ2
- お好み：黒こしょう……適宜／ポン酢しょうゆ‥適宜／小口ネギ……適宜

作り方

❶ジャガイモは皮をむいて2cmの厚さにカットし水にさらしておく。ネギは2cmのぶつ切り、エノキタケは石突きを落とし半分に切ってばらす。ニンニクは皮をむいて包丁の腹でつぶす。
❷ジャガイモ以外の材料を鍋に入れて火にかける。沸騰したらあくを取って、弱めの中火で15分煮込む。ジャガイモを加えてさらに15～20分煮込む。
❸お好みで黒こしょうやポン酢しょうゆ、小口ネギをかけいただく。

ポイント

手羽先とエノキタケからだしが出てうま味のある煮込みに。煮込む時間はかかりますが、放置しておけばできるので簡単です。

アレンジ

●キムチやカレールーを入れる

読者からのお便り紹介

今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題

もし1日だけ「○○」になれるとしたら?

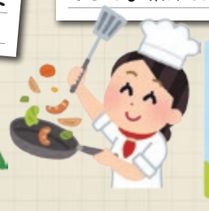
を教えて下さい。

発明家になり、光合成が出来る機械を作り、地球温暖化を止め魚類や動物を増やし農作物を豊作にし豊かな自然を取り戻したいです。
(福山さん)

10代20代の頃になれるなら、当時時代的に出来なかった事を思いっきりしたい。✦
(みっちゃんさん)

異性になりたいです。それぞれの性を体験出来れば多様性の理解にも多いに役立つと思います。
(牛さん)

もし1日だけ「料理人」になれるとしたら?たくさんの料理を作って冷凍庫に入れておきます。(阪本さん)



もし1日だけ「若返る」としたら富士山に登ってみたいです。(福井さん)

鳥になって、日本の各地を空から眺めてみたい。
(倉本さん)

もし1日だけ「ドラえもん」になれるとしたら何処でもドアで旅行したいですね。
(イチゴのケーキさん)

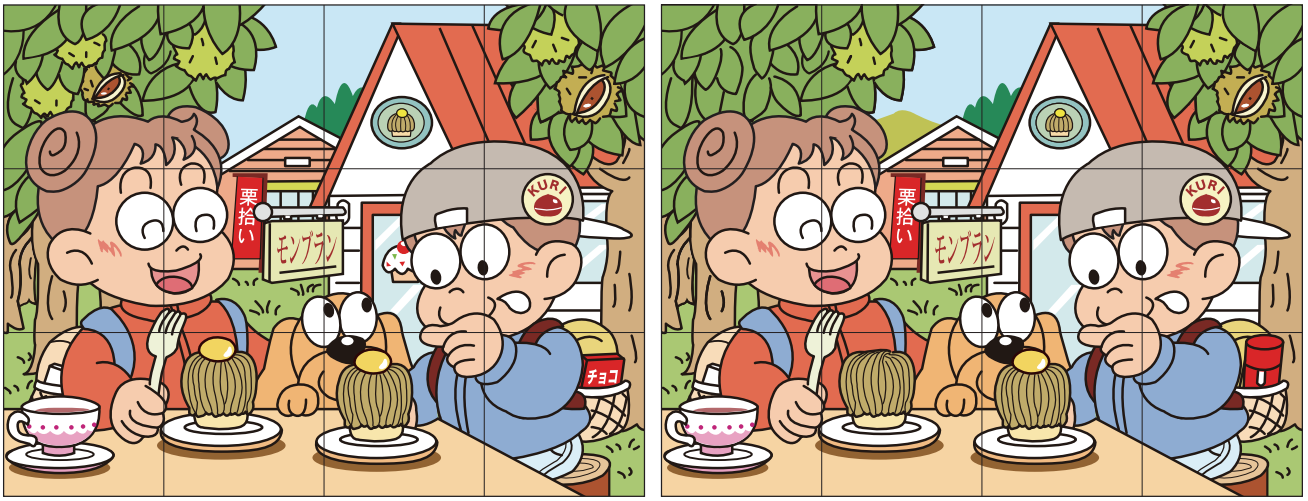
【次号のお題】
「動物と話せる能力を得たら、最初にどの動物と何を話したい?」
たくさんのお便りをお待ちしております。

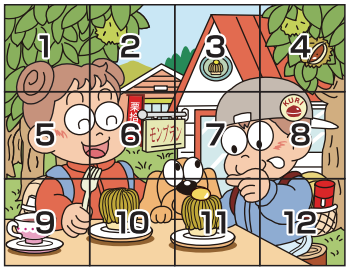
ドリームちゅうおう
10月号 No.333
発行日／令和7年9月12日
発　行／鳥取中央農業協同組合　〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409　TEL 0858-23-3000　FAX 0858-23-3070
JA鳥取中央ホームページ
https://www.ja-tottorichuou.or.jp
企画・編集／JA鳥取中央　総務部　広報課
印刷／山本印刷株式会社

まちがいさがし

今月のプレゼントは
「梨」

右のイラストには左のイラストと違う部分が何カ所かあります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。





8月号の答え
1・3・8・10・12

応　募　要　項

はがきやメール、FAXで①よかった記事と理由②今月号のクイズの答え（間違いがあるパネルの数字）③郵便番号④住所⑤氏名⑥電話番号⑦次号のお便りのお題「動物と話せる能力を得たら、最初にどの動物と何を話したい？」の回答を書いてお送りください。まちがいさがし正解者の中から抽選でプレゼントを発送いたします。

【宛先】
〒682-0867 倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
メール／kouhou@ja-tottorichuou.or.jp
ＦＡＸ／0858-23-3070
応募締め切り／10月10日（金）

※当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。

ここからも応募できます

中四国版紙面には、JA鳥取中央の記事が随時掲載されています！ぜひご覧ください!!

お近くの新聞販売店から毎日お届けします。

購読料　月極
紙　版3,100円(税込)
電子版2,403円(税込)

── 購読のお申し込みは、各支所 組合員課までお問い合わせください。──

購読料　年額
9,900円(税込)

誌代1年分を年間予約として購読料をお支払いただくと普通月号1か月分が無償となっております

※原則として、年間予約購読（前納）の中途解約はできません。
※1冊からでもご購読できます。

編集後記

各地で稲刈りが始まり、秋の訪れを感じます。表紙にはたわわに実った稲をコンバインで刈り取る風景を載せました。青空の下だと黄金色に輝く田園がよく映えます。

８月・９月は、梨の取材にたくさん行きました！　琴浦、倉吉、東郷と各地に出向き、生産者の皆さんから雨が降らず何tもの水をポンプで汲みあげ、園地で水やりをしている話を聞いたり、暑い中収穫に励んでおられる姿を写真に撮ったりしました。梨の甘さやみずみずしさの裏にある、たくさんの工夫や想いを知ってもらえれば、より一層梨がおいしく感じられると思い、SNSでも発信すると、たくさんの反応が！　ぜひJAのSNSもチェックしてみてください♪

広報課